

通園運動会

通園 運動会担当

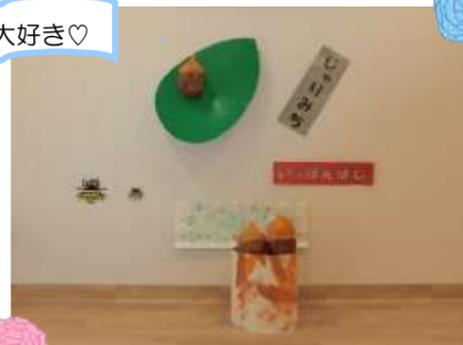
10月15日(日曜日)、朝から大雨でしたが、府中療育センター通園になって初めて多目的ホールを利用して通園運動会を執行しました。日々の遊びの中で成長した皆のキラキラした姿を、親御さんやごきょうだいにお見せすることができました。

プログラム1番は年長児さんの「はじまりのことば」。さすがお兄さんお姉さん。前に出ても堂々としていてとっても格好良かったです。さくら組は「夏の大冒険」、ゆり組は「お散歩大好き」というテーマで、さくら組さんは大きい虫をたくさん捕まえ、ゆり組さんはこんもりとどんぐりを拾って、職員と一緒に楽しく競技に取り組みました。

午後は、初めての運動会となるたんぽぽ組・ちゅうりっぷ組、「海のおともだち」をテーマに、親子でがんばりました。

競技だけでなく、歌、ダンス、保護者競技など、子どもたち、家族、職員全員で運動会を楽しみました♪

お散歩大好き♡



冒険で捕まえた虫やお魚、拾ったどんぐり…それぞれの壁面にぎやかに彩りました



夏の大冒険



海のおともだち

〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第550号 発行日 令和5年10月31日

☆ 第15回 府中療育センター祭特集 ☆

府中療育センター祭実行委員会 事務局

10月20日(金)、21日(土)は、第15回府中療育センター祭(以下「センター祭」)のイベント日でした。イベントに先駆け、9月20日(水)から全体制作「まほうが使えたら…」、10月16日(月)からはスタンプラリー「スタンプを集めて、願いをかなえよう!」が開始。10月18日(水)に各部署の展示が出揃うと、まもなくイベント日を迎えることとなりました。

お祭りは院長の館内放送による「開会のあいさつ」で始まりました。病棟にはまず「舞龍」が訪問。金色の宝珠を求めて舞い踊る龍を表す、縁起の良いオープニングセレモニーを行いました。そしてイベント会場には、通所と通園そして新センターになって初めて外来の利用者さんをお迎えしました。外来の方には、当日受診のある利用者さんに1階会場のみをご案内する形でしたが、複数組の方が参加され、お祭りを一緒にお楽しみいただくことができました。



～オープニングセレモニー～
舞龍が病棟を訪問しました

では、イベント会場をご紹介します。まず、1階の感覚刺激コーナー『まほうの世界へようこそ』。入口で光るリストバンドを身に着けると、魔法使いに変身～呪文を唱えたり魔法アイテムiPadを駆使したり、最後は風に乗って好きな場所に飛んでいくことができるという素敵なまほうの世界が体験できました。お隣はセンターの食べ物コーナーと外部出店コーナーです。食べ物コーナーは、センター利用者にお馴染みかつ人気の

綿あめや羊羹、溶けないアイスといったお菓子やカルピス、コーヒー、いちご牛乳等の飲み物をご用意。「好きなものをいくつでも」と言われても、遠慮がちに選ぶ奥ゆかしい方が多かったようです。

(2面、3面へ続く)



感覚刺激コーナーで
まほうの世界を体験





☆ 第15回 府中療育センター祭特集 ☆



外部出店コーナーは大賑わい

外部出店コーナーは、今年も地域の障害者施設等の皆さまに、それぞれ自慢の商品を販売していただきました。昨年度に引き続き「食彩さしすせそ」さん、「ワークセンターこむたん」さん、「ギャロップ」さん、「武蔵台学園」さん、そして久しぶりに「府中刑務所」さんが参加してくださいました。昨年度まではお店ごとに部屋が分かれていましたが、今回一堂に会していただくと、それぞれ机いっぱい商品が並べられ、一時は車いすの向きを変えるのにも気を使うほどの大賑わいとなりました。



展示作品を楽しんでいます

2階に移動しましょう。エレベーターを降りて左手へ、各部署が工夫を凝らした展示作品の数々を楽しみながら進むと、ゲームコーナーが現れました。「魔法学校へようこそ」をテーマに『組み分けボール』、『組対抗エアホッケー』、『百味クレーンゲーム』の3つのゲームに挑戦するコーナーです。「まずはスマートボールで組み分け、そして組対抗のエアホッケー、百味クレーンゲームでおやつ休憩」というような設定があったようですが、より簡単によりスムーズにより楽しくと、だんだん設定が曖昧に?!…でも、参加した方に賑やかな魔法学校の世界を楽しんでいただけたようですので、問題なしといたしましょう♪



ゲームコーナーで百味クレーンゲームに挑戦

他にも、職員による「摂食嚥下ワーキンググループ」の『摂食嚥下回診って、どんなことをしているの?』や、「緩和ケア委員会」の『もしばなゲームを通して、自分らしい生き方を考えてみませんか?』、「認定看護師会」の『ラッタッタ体操で呼吸筋をほぐしてリラックス!!!』といった企画ブースもあり、盛りだくさんのイベント会場となりました。

ところで、屋内外をつなぐ通路としていた部屋で、映像上映を行っていたことにお気づきでしたか?今年度もVTR発表に参加して下さった2C病棟『2C病棟 活動の様子』、くぬぎ分教室『竜宮城からの手紙』、そして『府中けやきの森学園和太鼓部』の皆さんの映像です。多目的ホールのみではもったいないと、芸能コーナーが通路を活用して上映しました。休憩がてらお楽しみくださった方もいらっしたようです。3団体の皆さま、VTRでのご出演、ありがとうございました!

さて、その芸能コーナーのメイン会場・多目的ホールでは、久しぶりの舞台発表がありました。通所の「通所ジャンボリミッキー」です。利用者、ご家族、職員みんなでダンスをして

大いに盛り上がりました。

そして、今年の特別公演は、金曜日は「ネコヤナギ楽団」さん、土曜日は「音種♪」さんのコンサートでした。「ネコヤナギ楽団」さんと「音種♪」さんには、外来や病棟への訪問ミニコンサートもお願いしました。多目的ホールでの公演の合間を縫って各所でミニコンサートとなり、息つく間もない大忙しのスケジュールとなってしまいましたが、ホールでも訪問先の小さな場所でも、あつという間に、穏やかで暖かな音や賑やかで楽しい音で空間を満たしていただき、癒しのひと時を味わわせていただきました。

土曜日の午後には「ボランティア表彰」も行われました。特別表彰2団体（お花の寄せ植えの寄贈、管弦楽コンサート）と個人1名（リネン交換）の方に、長年にわたるセンターでのボランティア活動について、感謝の気持ちをお伝えしました。センターに関わってくださっているボランティアの皆様、いつもありがとうございます。そして今後ともどうぞよろしく願いいたします!

また今年も、成人から傘寿まで幅広い年代の方々が人生の節目を迎えられることから、恒例の「人生の節目を祝う会」では、院長や副院長が各部署を訪問し、対象の皆様の節目の時をお祝いし、記念品をお贈りしました。これからもどうぞお元気で楽しい毎日を♪

2日間のイベントは、館内放送による事務長の「閉会のあいさつ」で締めくくりとなりました。今年度は新センターになって初めて、入所・通所のご家族や外来利用者、ボランティアの方々にご参加いただくことができました。久しぶりのご家族と一緒にセンター祭を、笑顔で楽しんでいる利用者さんの姿を見ることができ、とても嬉しく思いました。とはいえ、以前のように「ご自由にお楽しみください」というわけにはいかず、いくつかの制約を設けてのご案内となりました。ご参加いただいた皆さまにはご不便をおかけし、また様々な不手際もあったかと思いますが、少しでも楽しいひと時を過ごしていただけたなら幸いに存じます。センター祭にご理解・ご協力いただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



音種♪

ホールでのコンサート



ネコヤナギ楽団



外来でのミニコンサート



全体制作 ~まほうが使えたら~